

# Dell DL1000 アプライアンス リリースノート



# メモ、注意、警告

-  **メモ:** コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。
-  **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。
-  **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

**著作権 © 2014 Dell Inc. 無断転載を禁じます。** この製品は、米国および国際著作権法、ならびに米国および国際知的財産法で保護されています。Dell™、およびデルのロゴは、米国および/またはその他管轄区域における Dell Inc. の商標です。本書で使用されているその他すべての商標および名称は、各社の商標である場合があります。

2014 – 07

Rev. A00

# 目次

<b>1 はじめに.....</b>	<b>4</b>
Dell DL1000 アプライアンスについて.....	4
AppAssure 5 について.....	4
その他の情報.....	4
ライセンスポータルでのアプライアンスの登録.....	5
<b>2 既知の問題と制限事項.....</b>	<b>7</b>
OpenManage Server Administrator の問題.....	7
OpenManage Server Administrator が正しくインストールされない.....	7
OpenManage Server Administrator がステータスのアップデートに失敗する.....	7
リカバリおよびアップデートユーティリティが完了するのに長時間かかる.....	8
リポジトリの手動リカバリ.....	8
AppAssure のデスクトップショートカットがドメインユーザーに表示されない.....	9
ホスト名を変更しても Core Console ショートカットがアップデートされない.....	9
メッセージを閉じることができない.....	9
ライセンスキーインストールの失敗が表示されない.....	9
ライセンスキーのインストールと AppAssure アプライアンス設定ウィザードが失敗する.....	10
ライセンス設定の失敗時に誤ったメッセージが表示される.....	10
USB ドライブの安全な取り外しが失敗する.....	10
<b>3 困ったときは.....</b>	<b>11</b>
デルへのお問い合わせ.....	11
マニュアルのフィードバック.....	11

## はじめに

本書では、Dell DL1000 アプライアンスに関する重要な製品情報と制限事項が説明されています。

### Dell DL1000 アプライアンスについて

DL1000 アプライアンスは、さまざまな環境のために特別に設計されています。15.5 インチの浅い奥行き、少ない消費電力、低騒音、およびフレッシュエア冷却搭載の DL1000 は、スペースに制約のあるオフィス環境に最適です。このアプライアンスは、2 TB および 3 TB のプロビジョニング済みバックアップ容量（最大 2 つのスタンバイ仮想マシンのオプション付き）での使用が可能で、AppAssure バックアップおよびリカバリソフトウェアを使用します。

迅速な展開と効率性のために最適化された DL1000 は、次の機能を提供します。

- バックアップ時間の短縮に役立ちます。
- 最高 60 分ごとの頻度でスナップショットを作成します。
- クラウドアーカイブコネクタはクラウドストレージサブスクリプション（対応プロバイダ：Microsoft Azure、Amazon S3、OpenStack、および RackSpace）へのアーカイブの移動を簡易化し、テープインフラストラクチャとの置き換えが可能になります。
- 重要なサーバーを素早く復元するため、最大 2 つのスタンバイ VM を維持します（適切なエディションを使用）。
- 統合されたインライン方式のブロックレベル重複排除および圧縮と共に、WAN レプリケーション用に最適化されたバックアップを提供します。
- DL1000 ストレージを自動でプロビジョニングするウィザードベースの設定ユーティリティと、リモート管理用の iDRAC Express を提供します。


### AppAssure 5 について

AppAssure 5 は、ほぼゼロに近いリカバリ時間、リカバリ可能性保証、プラットフォーム間の仮想サーバーと物理サーバーのリカバリを提供する、統一かつ統合されたバックアップおよびレプリケーションソフトウェアです。

AppAssure ソフトウェアの重要な製品機能と制限事項についての詳細は、[docs.appassure.com](https://docs.appassure.com) で『AppAssure 5 Release Notes』（AppAssure 5 リリースノート）を参照してください。

### その他の情報

- **メモ:** すべての Dell OpenManage マニュアルは、[dell.com/openmanagemanuals](https://dell.com/openmanagemanuals) にアクセスしてください。
- **メモ:** アップデートには他の文書の内容を差し替える情報が含まれている場合がよくあることから、[dell.com/support/manuals](https://dell.com/support/manuals) でアップデートがないかどうかを常に確認し、最初にお読みください。

 **メモ:** Dell OpenManage Server Administrator に関するマニュアルは、[dell.com/openmanage/manuals](http://dell.com/openmanage/manuals) を参照してください。

製品マニュアルには次が含まれます。

はじめに	システム機能、システムのセットアップ、および技術仕様の概要を提供します。このマニュアルもシステムに同梱されています。
『Owner's Manual』(オーナーズマニュアル)	システムの機能、システムのトラブルシューティング方法、およびシステムコンポーネントの取り付けまたは交換方法について説明しています。
導入ガイド	アプライアンスのハードウェア導入、および初期展開についての情報を提供します。
ユーザーズガイド	システムの設定および管理についての情報を提供します。
『OpenManage Server Administrator User's Guide』(OpenManage Server Administrator ユーザーズガイド)	お使いのシステムを管理するための Dell OpenManage Server Administrator の使用についての情報を提供します。
『System Placemat』(システムプレースマット)	お使いの AppAssure ソリューションにおけるハードウェアのセットアップ、およびソフトウェアのインストール方法についての情報を提供します。
『Resource Media』(リソースメディア)	システムに付属のメディアには、OS、システム管理ソフトウェア、システムアップデート、およびシステムと同時に購入されたシステムコンポーネントに関するものを含め、システムの設定と管理用のマニュアルとツールが収録されています。
『Interoperability Guide』(相互運用ガイド)	DL1000 アプライアンス対応のソフトウェアおよびハードウェアについての情報の他、使用時の考慮事項、推奨事項、および規則についての情報を提供します。

## ライセンスポータルでのアプライアンスの登録

1. お使いのウェブブラウザで、ご購入時に送信された電子メールに記載されている、ウェブサイト URL のライセンスポータルに移動します。
2. **Register** (登録) ページの **E-mail Address** (電子メールアドレス) テキストボックスに、ご契約に関連する電子メールアドレスを入力します。
3. アプライアンスのライセンス番号、またはサービスタグを入力します。(複数のアプライアンスがある場合は、サービスタグまたはライセンス番号を入力した後で Enter キーを押し、追加の番号を入力します。)
4. **Activate** (アクティブ化) をクリックします。

入力した電子メールアドレスがライセンスポータルに登録されていない場合 (つまり、これが新しいライセンスポータルアカウントである場合)、その電子メールアドレスを使用してライセンスポータルでア

アカウントを作成するためのプロンプトが表示されます。ライセンスポータルでアカウントを作成するための情報を入力します。アカウント登録後、ライセンスポータルにログオンされます。(アクティブ化電子メールもお使いの電子メールアドレスに送信されます。)

5. ライセンスキーのリストが記載された登録の成功通知が表示されます。この通知には、ライセンスキーをアプライアンスに適用するための次の手順が説明されています。
  - a. お使いのアプライアンスの AppAssure Core Console を起動します。
  - b. **Core Configuration (コア設定) → Licensing (ライセンス)** に移動します。
  - c. **Change License Key (ライセンスキーの変更)** をクリックします。
  - d. 登録の成功通知メッセージに記載されているソフトウェアライセンスキーをコピー & ペーストして、変更を保存します。
6. **OK** をクリックします。

詳細については、<http://documents.software.dell.com/AppAssure/> で入手可能な『Dell Software License Portal User Guide』(デルソフトウェアライセンスポータルユーザーガイド) を参照してください。

## 既知の問題と制限事項

- メモ:** ホスト名は、**AppAssure** アプライアンス設定ウィザードを使用して変更することを強くお勧めします。設定が完了したら、コンピュータ名を手動で以前の名前に変更してください。
- メモ:** HDD での仮想ディスクの作成または削除は行わないでください。これによって、ストレージプロビジョニングおよび / またはリポジトリリカバリでの問題が生じる可能性があります。

## OpenManage Server Administrator の問題

説明	DL1000 Backup To Disk アプライアンスにおける各種サブシステム間での複雑な相互作用のため、OpenManage Server Administrator が常に正しく機能しない場合があります。
回避策 / 解決方法	DSM SM データマネージャサービスを再スタートすることで問題が解決されます。

## OpenManage Server Administrator が正しくインストールされない

説明	In rare instances when using the リカバリおよびアップデートのユーティリティを使用すると、稀に OpenManage Server Administrator が正しくインストールされないことがあります。
回避策 / 解決方法	<b>Start</b> (スタート) → <b>Control Panel</b> (コントロールパネル) → <b>Uninstall a program</b> (プログラムのアンインストール) → <b>Dell OpenManage Systems Management Software</b> ( <b>Dell OpenManage Systems Management</b> ソフトウェア) をクリックして手動で OpenManage を削除してから、ソフトウェアを手動で再インストールします。

## OpenManage Server Administrator がステータスのアップデートに失敗する

説明	OpenManage Server Administrator は時々ステータスのアップデートに失敗し、OpenManage Server Administrator のステータスが、 <b>Appliance</b> (アプライアンス) タブ <b>Overall Status</b> (全体のステータス) 画面に表示されるステータスと一致しないことがあります。
回避策 / 解決方法	<b>Server Manager</b> → <b>Tools</b> (ツール) → <b>Services</b> (サービス) と開き、 <b>DSM SA Data Manager</b> サービスを停止してから再度開始します。



**メモ: Services (サービス)** ウィンドウによってほかのサービスも再度開始するよう指示されることもあります。サービスを再度開始した後もまだ問題が残るようであれば、アプライアンスを再起動します。



## リカバリおよびアップデートユーティリティが完了するのに長時間かかる

説明	ドメインに連結しているときにリカバリおよびアップデートユーティリティを実行すると、完了時間は 90 分を超過することがあります。
回避策 / 解決方法	リカバリおよびアップデートユーティリティを早めるには、マシンにローカル管理者としてログインします。ドメインにはログオンしないでください。リカバリおよびアップデートユーティリティを開始してからドメインにログオンし直します。


## リポジトリの手動リカバリ

災害復旧の際、オペレーティングシステムがインストールされ、**Recovery Update Utility (リカバリアップデートユーティリティ)** をダウンロードして実行し、FTBU を完了して AppAssure を起動してリカバリ処理を終了しました。ただし、不完全なブレッドグラムが **Remount Volume (ボリュームの再マウント)** 処理によってボリュームがマウントされるのを阻止しています。

リポジトリを手動でリカバリするには：

1. **Computer Management (コンピュータの管理)** を起動し、**Storage Management (ストレージ管理)** → **Disk Management (ディスク管理)** を選択します。
2. **DL\_REPO\_xxxx** をラベルが付いたボリュームにドライブ文字を追加します。
3. **DL\_REPO\_xxxx** ボリュームを検証します。ドライブ文字とファイルのパスをメモし、**AppRecoveryCoreConfigurationBackup** ファイルが存在することを確認します。
4. AppAssure Core Console から、**Configuration (設定)** タブを選択し、次に **Restore (復元)** を選択します。
5. **Enter Local Directory Path (ローカルディレクトリのパスを入力)** テキストボックスに、ドライブ文字とリポジトリへのファイルのパスを入力し、**Restore Repositories (リポジトリの復元)** オプションを選択します。
6. **Restore (復元)** をクリックします。  
AppAssure がリポジトリを復元しますが、リポジトリのステータスは赤色です。
7. リポジトリ情報を展開して、メタデータのパスをコピーします。
8. PowerShell ウィンドウを開き、次のコマンドをタイプしてマウントポイント用フォルダを作成します：  
**md "<metadata path>"**  
 **メモ:** メタデータのパスから **\File\_x** の部分を取り除き、メタデータのパスを引用符で囲んだことを確認します。
9. **Computer Management (コンピュータの管理)** → **Storage Management (ストレージ管理)** → **Disk Management (ディスク管理)** から、ボリュームへのマウントパスを追加します。  
 **メモ:** メタデータのパスから **\File\_x** の部分を取り除いたことを確認します。
10. ドライブ文字を取り除きます。
11. ドライブ文字をすべての **DL\_VMRSRV\_x** ボリュームに追加します。

12. AppAssure Core Console **Configuration (設定)** → **Restore (復元)** 画面から、**fix path (パスの修正)** をクリックし、次に **Save (保存)** をクリックします。  
リポジトリがオンラインに戻り、緑色のステータスを表示します。

 **メモ:**それぞれの **DL\_REPO\_XXXX** ボリュームについて、手順 9~12 を繰り返します。

## AppAssure のデスクトップショートカットがドメインユーザーに表示されない

説明	管理者権限のないドメインユーザーに対し、AppAssure ソフトウェアのデスクトップショートカットが表示されません。
回避策 / 解決方法	AppAssure ソフトウェアのデスクトップショートカットは、管理者権限のあるユーザーにのみ表示されます。アプライアンスにローカル管理者、または管理権限を持つユーザーとしてログオンしてください。

## ホスト名を変更しても Core Console ショートカットがアップデートされない

説明	システム (AppAssure Core Console がインストール済み) のホスト名の変更後、 <b>スタート</b> → <b>AppAssure</b> → <b>Core</b> にある AppAssure Core Console のショートカットが新しいホスト名でアップデートされません。
原因	この問題は、AppAssure アプライアンス設定ウィザードを使用してホスト名を変更した後、AppAssure Console を閉じて AppAssure Console のデスクトップショートカットを削除すると発生します。
回避策 / 解決方法	AppAssure Core Console のデスクトップショートカットを削除しないでください。

## メッセージを閉じることができない

説明	ストレージプロビジョニングでのエラー発生後に AppAssure アプライアンス設定ウィザードを閉じようとする、待機するように促すプロンプトが表示されます。アプライアンスが応答しなくなり、表示されたメッセージを閉じることができません。
回避策 / 解決方法	システムのタスクマネージャを使用して AppAssure アプライアンス設定ウィザードを閉じてください。AppAssure アプライアンス設定ウィザードを再開して設定を完了します。

## ライセンスキーインストールの失敗が表示されない

説明	各種コンポーネント用のライセンスキーのインストールが失敗しても、アプライアンスが <b>ソフトウェアライセンス</b> に赤い <b>X</b> を表示しません。
回避策 / 解決方法	ライセンスキーのインストールを再度実行してください。

## ライセンスキーのインストールと AppAssure アプライアンス設定ウィザードが失敗する

### 説明

AppAssure アプライアンス設定ウィザードを使用して誤ったデータ（例えば、誤ったホスト名、ドメイン資格情報など）を入力すると、アプライアンスの設定が失敗します。

AppAssure サービスは自動的に再起動されないことから、AppAssure アプライアンス設定ウィザードが再開後も継続的に失敗する場合があります。

AppAssure サービスが実行されていないと、ライセンスキーのインストールも失敗します。

### 回避策 / 解決方法

1. AppAssure アプライアンス設定ウィザードを閉じます。
2. AppAssure サービスを手動で再起動します。
3. AppAssure アプライアンス設定ウィザードを再開します。

## ライセンス設定の失敗時に誤ったメッセージが表示される

### 説明

ライセンス設定の失敗時に、次の誤ったエラーメッセージが表示されます。

A critical error occurred. Click 'Back' to try again. If the issue persists, contact Dell Support for assistance

### 回避策 / 解決方法

1. AppAssure アプライアンス設定ウィザードを閉じます。
2. AppAssure サービスを手動で再起動します。
3. AppAssure アプライアンス設定ウィザードを再開します。

## USB ドライブの安全な取り外しが失敗する

### 説明

**RASR USB ドライブの作成** ページの **USB ドライブの安全な取り外し** をクリックすると、失敗する場合があります。

### 回避策 / 解決方法

USB ドライブを取り外す前に、Windows の **安全な取り外し** オプションを使用してください。



**メモ:** バックアップステータスは黄色のままになりますが、アプライアンスの再起動、または *Dell Storage Management Web Service* の再起動によって修正されます。

## 困ったときは

### デルへのお問い合わせ

デルでは、オンラインおよび電話ベースのサポートとサービスオプションをいくつかご用意しています。アクティブなインターネット接続がない場合は、ご購入時の納品書、出荷伝票、請求書、またはデル製品カタログで連絡先をご確認いただけます。これらのサービスは国および製品によって異なり、お住まいの地域では一部のサービスがご利用いただけない場合があります。

セールス、テクニカルサポート、またはカスタマーサービス問題についてのデルへのお問い合わせは、[software.dell.com/support](https://software.dell.com/support) にアクセスしてください。

### マニュアルのフィードバック

本マニュアルに対するフィードバックは、[documentation\\_feedback@dell.com](mailto:documentation_feedback@dell.com) までEメールを送信してください。または、デルマニュアルページにある **Feedback** (フィードバック) リンクをクリックしてフォームに入力し、**Submit** (送信) をクリックしてフィードバックを送信していただくこともできます。